【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2014-28069(P2014-28069A)
【公開日】平成26年2月13日(2014.2.13)
【年通号数】公開・登録公報2014-008
【出願番号】特願2012-170446(P2012-170446)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　3/028　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　3/02　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年7月28日(2015.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
視標を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの視標光束を反射させて被検者眼に導光する凹面ミラーと、を有する視標呈示ユニットと、検査窓に光学素子を切り換え配置する左右一対のレンズ室ユニットを有する眼屈折力測定ユニットと、を備える検眼装置であって、
前記ディスプレイは、被検者眼が前記検査窓を覗いたときの所定の視野角の範囲外に配置されていることを特徴とする検眼装置。
【請求項２】
請求項１の検眼装置において、
前記凹面ミラーを内部に収納する筐体を有し、
前記凹面ミラーは、前記筐体の内部において、被検眼が正面方向に呈示される視標を見るために設定された基準軸上に配置され、
前記ディスプレイは、前記凹面ミラーを内部に収納する筐体の外部で前記基準軸外に配置され、
前記基準軸上で前記筐体の前面に配置された透明パネルであって、前記ディスプレイからの視標光束を透過し、前記凹面ミラーで反射された視標光束を再び透過して前記筐体外に射出する透明パネルを備え、
前記透明パネルの前面の法線方向が前記基準軸に対して傾斜した角度で配置され、
前記角度は、前記透明パネルの前面で反射される反射光であって、前記ディスプレイから出射された光の反射光が所定位置の被検眼から外れる方向に向かうように設定されていることを特徴する検眼装置。
【請求項３】
視標を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの視標光束を反射させて被検者眼に導光する凹面ミラーと、を有する視標呈示ユニットを備え、被検眼の遠用視機能を検査する検眼装置であって、
前記凹面ミラーを内部に収納し、前記凹面ミラーの前面に配置された呈示窓を有する筐体であって、所定の検査位置に位置する被検者眼の正面方向に配置された筐体を備え、
前記ディスプレイは、前記筐体の外部に配置され、且つ前記ディスプレイより視標光束を前記筐体外部から前記呈示窓を介して前記凹面ミラーに向かわせる位置であって、被検

者の額付近に配置されていることを特徴とする検眼装置。
【請求項４】
被検眼が正面方向に呈示される視標を見るために設定された基準軸上に配置された凹面ミラーを内部に収納する筐体と、
視標を表示するディスプレイであって、前記筐体の外部で前記基準軸外に配置されたディスプレイと、
前記基準軸上で前記筐体の前面に配置された透明パネルであって、前記ディスプレイからの視標光束を透過し、前記凹面ミラーで反射された視標光束を再び透過して前記筐体外に射出する透明パネルと、を備える検眼装置であって、
前記透明パネルの前面の法線方向が前記基準軸に対して傾斜した角度で配置され、
前記角度は、前記透明パネルの前面で反射される反射光であって、前記ディスプレイから出射された光の反射光が所定位置の被検眼から外れる方向に向かうように設定されていることを特徴する検眼装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（１）　視標を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの視標光束を反射させて被検者眼に導光する凹面ミラーと、を有する視標呈示ユニットと、検査窓に光学素子を切り換え配置する左右一対のレンズ室ユニットを有する眼屈折力測定ユニットと、を備える検眼装置であって、前記ディスプレイは、被検者眼が前記検査窓を覗いたときの所定の視野角の範囲外に配置されていることを特徴とする。
（２）　（１）の検眼装置において、前記凹面ミラーを内部に収納する筐体を有し、前記凹面ミラーは、前記筐体の内部において、被検眼が正面方向に呈示される視標を見るために設定された基準軸上に配置され、前記ディスプレイは、前記凹面ミラーを内部に収納する筐体の外部で前記基準軸外に配置され、前記基準軸上で前記筐体の前面に配置された透明パネルであって、前記ディスプレイからの視標光束を透過し、前記凹面ミラーで反射された視標光束を再び透過して前記筐体外に射出する透明パネルを備え、前記透明パネルの前面の法線方向が前記基準軸に対して傾斜した角度で配置され、前記角度は、前記透明パネルの前面で反射される反射光であって、前記ディスプレイから出射された光の反射光が所定位置の被検眼から外れる方向に向かうように設定されていることを特徴する。
（３）　視標を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの視標光束を反射させて被検者眼に導光する凹面ミラーと、を有する視標呈示ユニットを備え、被検眼の遠用視機能を検査する検眼装置であって、前記凹面ミラーを内部に収納し、前記凹面ミラーの前面に配置された呈示窓を有する筐体であって、所定の検査位置に位置する被検者眼の正面方向に配置された筐体を備え、前記ディスプレイは、前記筐体の外部に配置され、且つ前記ディスプレイより視標光束を前記筐体外部から前記呈示窓を介して前記凹面ミラーに向かわせる位置であって、被検者の額付近に配置されていることを特徴とする。
（４）　被検眼が正面方向に呈示される視標を見るために設定された基準軸上に配置された凹面ミラーを内部に収納する筐体と、視標を表示するディスプレイであって、前記筐体の外部で前記基準軸外に配置されたディスプレイと、前記基準軸上で前記筐体の前面に配置された透明パネルであって、前記ディスプレイからの視標光束を透過し、前記凹面ミラーで反射された視標光束を再び透過して前記筐体外に射出する透明パネルと、を備える検眼装置であって、前記透明パネルの前面の法線方向が前記基準軸に対して傾斜した角度で配置され、前記角度は、前記透明パネルの前面で反射される反射光であって、前記ディスプレイから出射された光の反射光が所定位置の被検眼から外れる方向に向かうように設定されていることを特徴する。